

今後の気象の見通し

平成24年11月

日本気象株式会社



今年の夏(6~8月)の状況

○北～西日本では暑夏となり、猛暑日となった所もあった

7月後半以降、太平洋高気圧が本州付近に強く張り出したため、夏の気温は北～西日本で高くなり、猛暑日となった所もあった。また、東北、北陸、関東甲信の各地方では晴れの日が続き、少雨となった。

○西日本は多雨となり、たびたび大雨が発生した

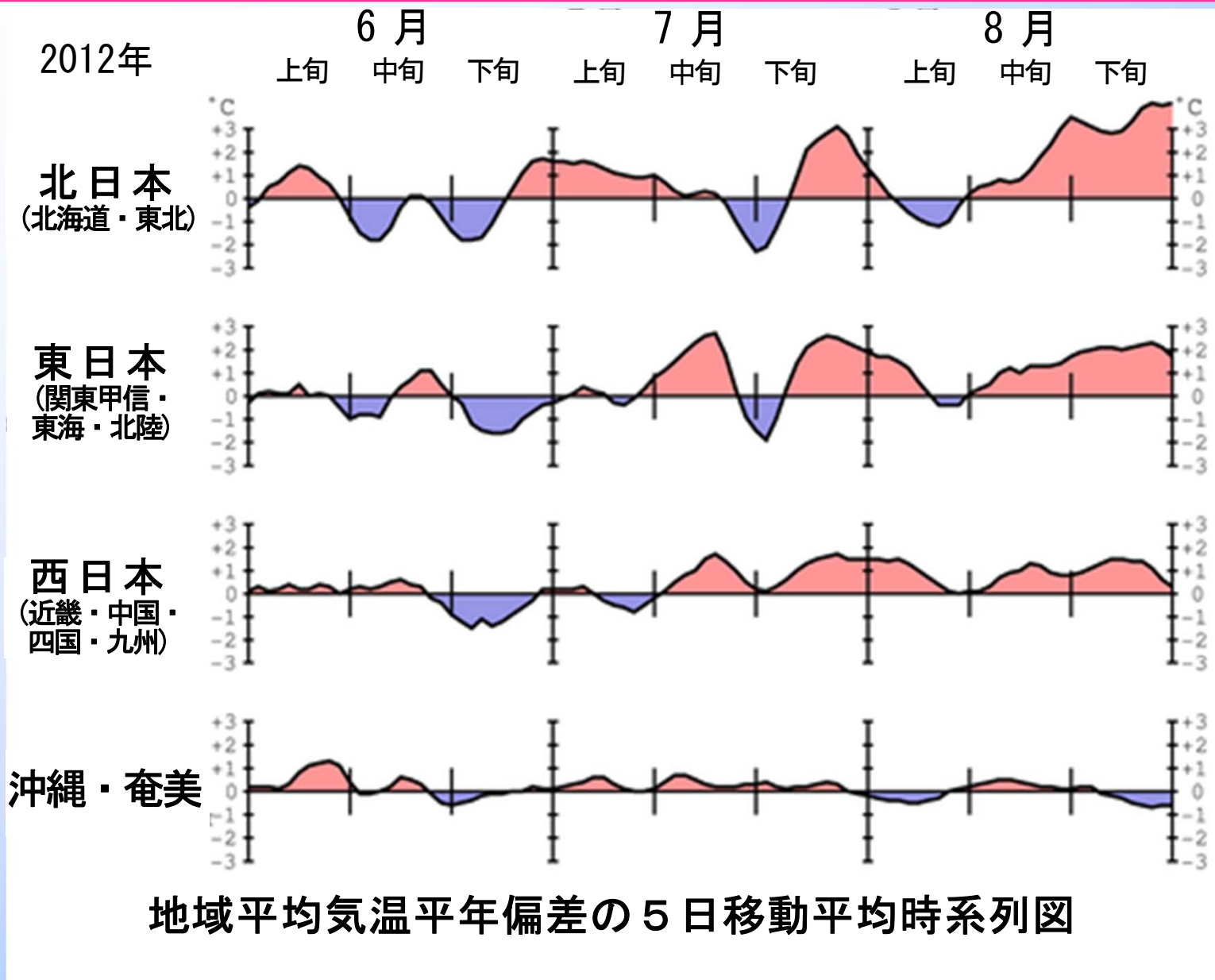
活動が活発な梅雨前線や南からの暖かく湿った気流の影響で、西日本では降水量が多く、特に西日本太平洋側ではかなり多かった。西日本を中心に雷を伴った大雨がたびたび発生し、九州北部地方では7月11～14日にかけて「平成24年7月九州北部豪雨」が発生した。

○沖縄・奄美では、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった

沖縄・奄美では台風の影響などにより、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった。夏の降水量は1946年以降最も多い値を更新した。

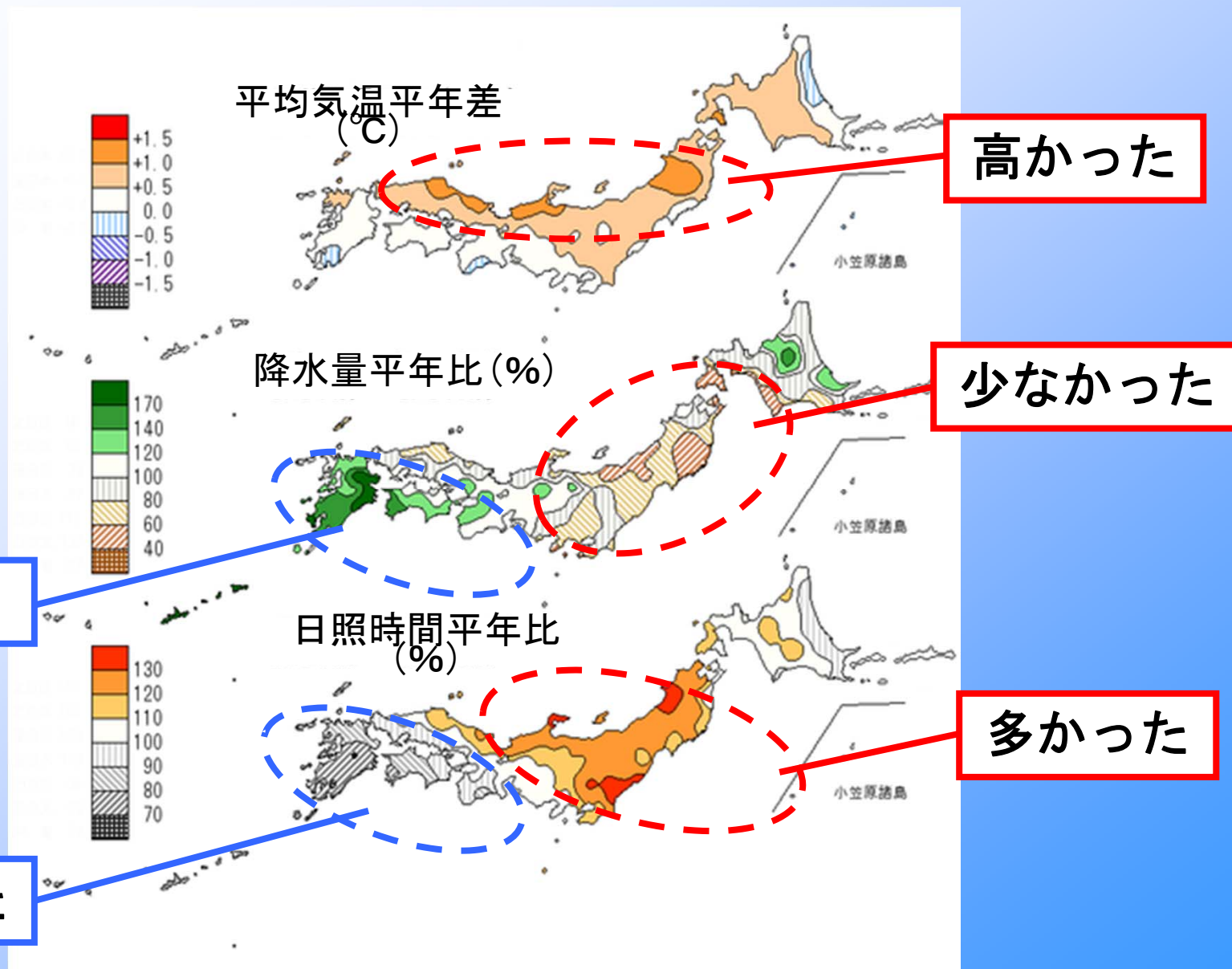


今年の夏(6~8月)の気温の状況





各地域の、6~8月の気温・降水量・日照時間(平年との差)





9～10月の天候の経過

9月

○上～中旬は太平洋高気圧の勢力が非常の強く、北～東日本は晴れたことと南からの暖かい空気が流れ込み北日本では記録的な高温になった。

○秋雨前線の活動は下旬の一時的なもので、東北や北陸、関東甲信で降水量が少なく、7月下旬からの少雨状態が続いた

○南から湿った空気や上空の寒気の影響で、北～西日本で大気の状態が不安定となり雷の発生した日が多かった。

10月

○北日本では、上旬を中心に暖かい空気に覆われて気温が高い日が多く、月平均気温もかなり高かった。

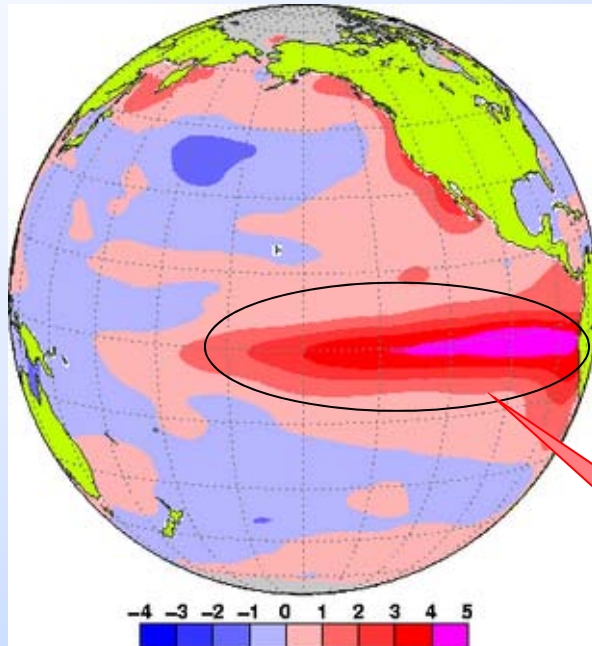
○東～西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多く、月間日照時間は、東～西日本太平洋側でかなり多かった。



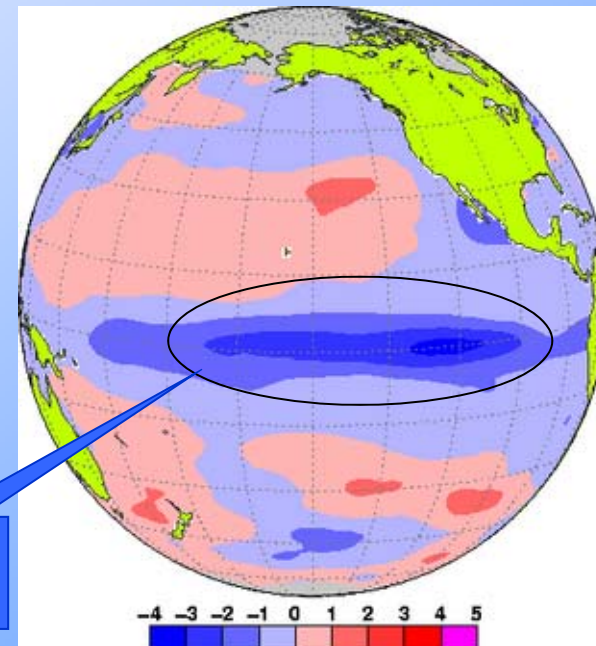


エルニーニョ現象とラニーニャ現象

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米のペルー沿岸にかけての広い海域で海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象をラニーニャ現象という。



高い



低い

エルニーニョ現象発生時

1997年11月の月平均海面水温平年偏差

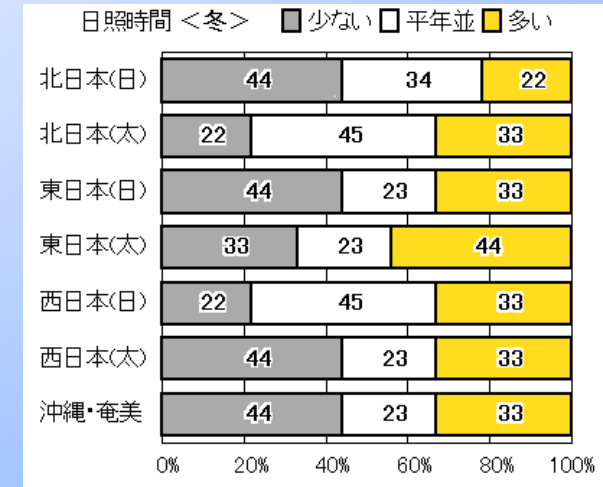
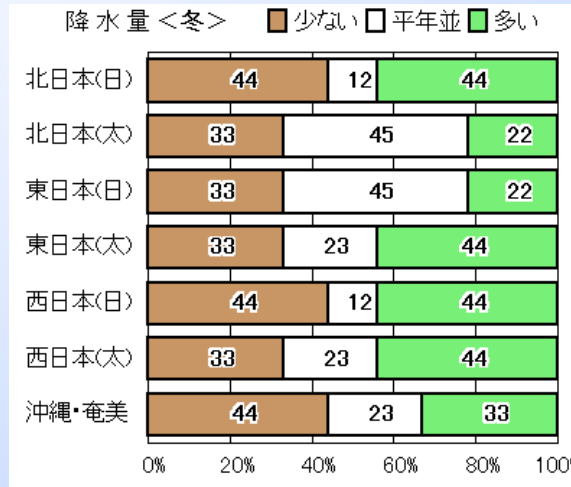
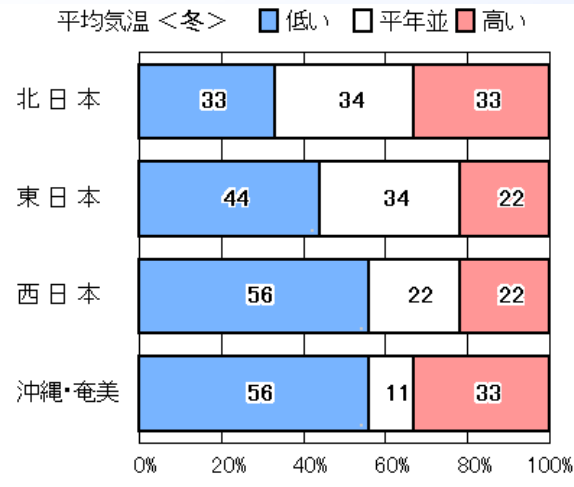
ラニーニャ現象発生時

1988年12月の月平均海面水温平年偏差



ラニーニャ現象発生時の冬

ラニーニャ現象発生時の冬(12~1月)の天候の特徴



ラニーニャ現象発生時の夏(12~2月)の天候の特徴(左:気温、中:降水量、右:日照時間)
統計期間: 1979年3月~2009年2月。棒グラフ上の数字は出現率を示す。

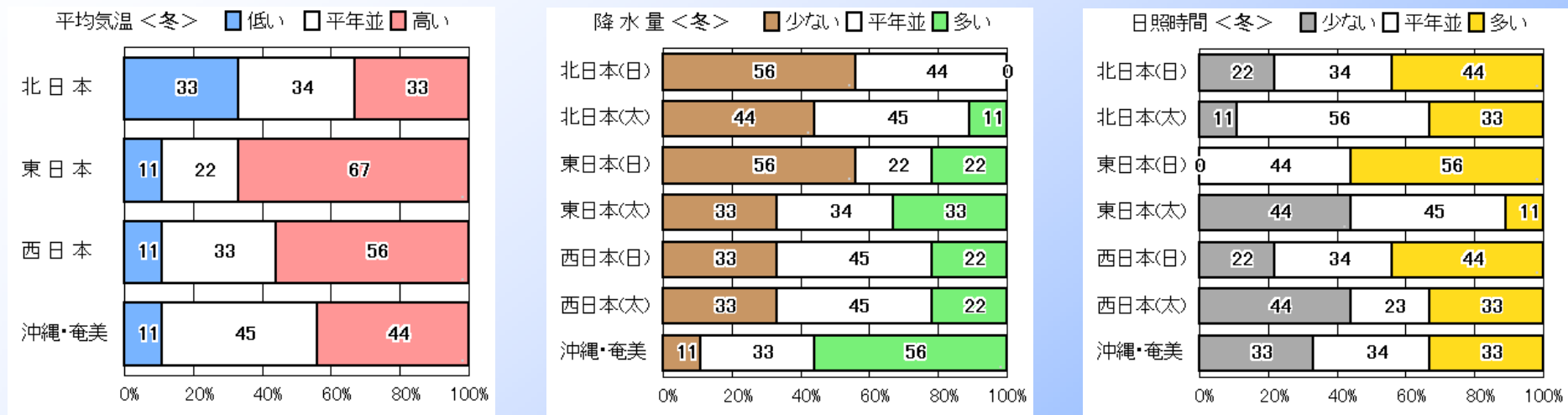
平均気温: 東日本・西日本・沖縄奄美で低い傾向

降水量: 特に傾向はない

日照時間: 北日本日本海側では少ない傾向



エルニーニョ現象発生時の冬(12~2月)の天候の特徴



エルニーニョ現象発生時の冬(12~2月)の天候の特徴(左:気温、中:降水量、右:日照時間)

統計期間: 1979年3月~2009年2月。棒グラフ上の数字は出現率を示す。

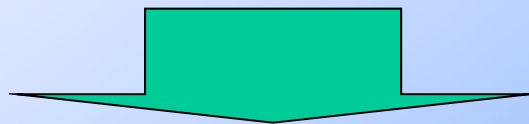
平均気温: **東日本・西日本・沖縄奄美で高い傾向**

降水量: **北日本・東日本日本海側で少なく、沖縄奄美は多い傾向**

日照時間: **北~西日本日本海側で多く、東日本太平洋側で少ない傾向**

○大気および海上の状況

- ・ 夏の間エルニーニョ現象は弱まっていおり、冬の間、エルニーニョ現象が持続する可能性と平常の状態になる可能性が同程度
- ・ フィリピン付近で高気圧が卓越するため、東日本以西で前半を中心に暖かく湿った空気が入りやすい



11月・・・日本海側は曇りや雨、雪の日が多い。北日本太平洋側は晴れの日が少ないが、東～西日本の太平洋側は晴れの日が多い

12月・・・日本海側は曇りや雨、雪の日が多い。北～東太平洋側は晴れの日が多いが、西日本太平洋側は晴れの日が少ない

1～2月・・・日本日本海側は曇りや雨、雪の日が多いが、太平洋側は晴れの日が多い



2012年11月の天候の特徴

- 低気圧と高気圧が交互に通過し、低気圧通過後は冬型の気圧配置に変わる
- 低気圧通過後の寒気の南下は弱く、冬型の気圧配置は平年に比べて弱い
- 沖縄・奄美では期間の前半を中心に寒気の影響を受けやすい

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	多い	並みか少ない
	太平洋側	並みか高い	並みか多い	並みか少ない
東日本	日本海側	低い	多い	並みか少ない
	太平洋側	低い	多い	並み
西日本	日本海側	並みか低い	並みか多い	並みか少ない
	太平洋側	並みか低い	多い	並み
沖縄・奄美		低い	少ない	並み





2012年12月の天候の特徴

- 北・東日本は平年と同様に冬型の気圧配置になりやすく、北日本を中心に寒気の影響を受ける時期がある
- 西日本は冬型の気圧配置の影響が弱く、太平洋側を中心に低気圧の影響を受けやすい
- 沖縄・奄美は、日本の南海上で高気圧が強く、南からの暖かく湿った空気の影響を受ける

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
東日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側	高い	多い	並み
西日本	日本海側	並みか高い	多い	並みか少ない
	太平洋側	並みか高い	並みか多い	並みか少ない
沖縄・奄美		並みか高い	並みか多い	並みか少ない





2013年1~2月の天候の特徴

- 北～西日本は平年と同様に冬型の気圧配置となる日が多い
- 東～西日本の太平洋側は平年と同様に南岸低気圧の影響を受ける日がある
- 沖縄・奄美は湿った気流の影響を受けやすい時期がある

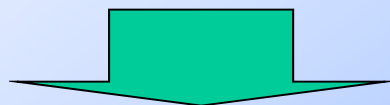
		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
沖縄・奄美		高い	多い	並みか少ない





2012～2013年冬の子報(まとめ)

- 冬の間、エルニーニョ現象が持続する可能性と平常の状態になる可能性が同程度
- 太平洋側では11～12月に低気圧の影響を受けやすい
- 1～2月は平年同様に冬型の気圧配置になる日が多い



11～12月は西日本の太平洋側を中心に低気圧の影響を受けて、**降水量が多い**。

⇒注意事項：日照不足による発育不良

1月は日本海側で強い冬型の気圧配置、2月は太平洋側で南岸低気圧に注意

⇒注意事項：冬型は日本海側の大雪、太平洋側の乾燥
南岸低気圧は太平洋側の雪



終了

※本資料は、気象庁発表資料を基に作成しました。